

期 日 2019年11月5日(火)～8日(金)

参加者 後藤、高岡、渡邊典、加藤、合谷、鈴木木新、鈴木木綾、星千、松永、(一般=土屋、K原)
=11名

1日目(11月5日・火)晴 距離=約18km

三島・イトーヨーカ堂6:00～御殿場～塩山～雁坂トンネル～両神・小森橋10:11―途中
昼食―三十一番・観音院12:48―小鹿野―小判沢―大日峠入口15:40―小鹿野町「梁
山泊」(泊)

昨年秋最終地、両神・小森橋から出発。天気は良い。紅葉はちょっと早い。

郵便局の角を左折すると、地元のオジサンが道を教えてくれた。

「本来、ここにバイパス道があるが、先日の19号台風で橋が流されたから、本道を行って下さい」とのこと。小森川支流の橋を渡る。確かに台風の痕跡が凄かった。板戸から峠を越えて上飯田に到着。昼食時間なので、田んぼの畔に座って昼食。天気が良く暖かくノンビリした。



昼食



地藏寺

午後は、ちょっとした峠を越えて、上飯田に出た。

左折して観音寺に向かう。途中に地藏寺があった。この寺は水子供養で有名。境内・山の斜面に一万本以上の風車が回っていた。

更に上ると三十一番・観音寺着。山門に4mの石造りの仁王が睥睨していた。

石造りでは、日本一という。先は石段が続く。般若心経の276文字+回向文20文字=296段といわれる。上り切れれば本堂。左後方に落差60mの「聖浄の滝」が落ちていた。

その昔、修験者が滝行をしたという。

滝の続きの岩肌には、弘法大師が刻んだ「鷲窟磨崖仏（しゅうくつまがいぶつ）」があった。この辺りは太古は海で、「礫質砂岩（れきしつさがん）」で刻みやすいようだ。



石仁王



本堂と滝



鷲窟磨崖仏



今回最初のお勤めを済ませ下山。階段の途中で年配の方がベンチで休んでいた。

小鹿野の町を下る。宿場町だったか、静かで落ち着いた雰囲気。お接待の店があってコーヒーが飲めたが、靴を脱がないと上がれないので止めた。

途中、地元のオジサンが道を教えてくれた。話すと、今日の宿「梁山泊」と親戚といった。三島という信号を右折して小森川を渡る。大きな川で台風の痕跡が凄まじかった。

この橋が流れないで良かった。

橋が流れたら三十二番・法性寺に山道で行けなかった。

小判沢集落を上り、明日の大日峠登山口を確認して本日は終了。バスで宿に向かった。



三十一番・観音寺

2日目（11月6日・水）晴 距離＝約22km

起床5：00～温泉～朝食6：45～バス発7：15－大日峠登山道7：33－大日峠8：15－三十二番・法性寺8：42～9：10－赤平橋－赤倉橋－三十三番・菊水寺（昼食）10：57～12：00－番戸大橋－奈良川大橋－札立峠14：15－三十四番・水潜寺14：55～15：20－梁山泊（泊）

宿の「梁山泊」は、安価（8250－・税込み＋150－・入湯税）だが、なかなか良い宿だった。料理は悪くない。温泉は24時間OK。カラオケは無料。部屋はやや狭いが、二人なら問題なかった。料理の部屋出しもあり、夜は無料、朝は有料だった。（運転者は朝も無料）朝食は6：50予定だったが、「用意が出来た」で、早くやってくれた。随所に「温かみ」を感じる宿だった。先達としてこんな有難いことはない。



大日峠



バスで昨日の最終地に移動。道がやや狭かったが、地元の方がガイドしてくれた。大日峠に向かって二日目が始まった。今日も好天。沢沿いに上っていく。台風の影響は少なかった。皆さんは山道で嬉々としていた。やっぱり自然の道はいい。沢は静岡では見られない、「板状節理（ばんじょうせつり）」が続いた。沢を離れて大日峠に着いた。お地蔵さまが二体あった。松永さんが地蔵のうんちくを披露。左は昭和年代、右は明治維新以前時代。なぜなら、右の地蔵は首が付け替えられている。それは明治維新後、神道を進める「廃仏毀釈」で首をはねられたからという。皆さん納得でした。



峠から下り道になった。柿ノ久保集落に出た。山中に立派な家が点在していた。廃屋と思いきや、洗濯物が干してあった。更に下ると三十二番・法性寺（ほうしょうじ）着。立派な寺だった。玄関わきの部屋に乳飲み子を抱えた若い女性がいた。本堂でお勤め。山上に「お船観音」と呼ばれる、200mの巨岩に奥の院がある。行ってみたかったが、今日は時間が厳しいので中止。ここで富士川町の方に会った。食道がんで長泉がんセンターに通っていたという。名刺を渡し後日、連絡を貰った。



三十二番・法性寺

富士川町の方は昨夜、同じ宿に泊まったという。しかし、大日峠を越えないで下道に来たようだ。荷物を置いてあるので、再び宿に向かうといていた。

山を下る。すぐ下に「鵜谷（なぶりや）」という変わった地名があった。余りいい意味でなかった。般若川から長留川沿いを下る。この辺りは川が複雑に交差していた。パトカーが一旦停止の取り締まりをやっていた。赤平橋手前でトイレ休憩。秩父に来て感じたのは、トイレが豊富で助かる。早朝でも使うことが出来た。先日の三島市・山中城跡とは随分違った。

対岸に行く。前を一人の方が歩いていた。聞けば定年になり札所巡りという。ただ、白衣でなくお勤めもしないといった。埼玉の方だったが、実は後で大変なことになるが、その時は分からなかった。再び奈倉橋を渡り三十三番・菊水寺着。ご朱印係の方は、いい感じの方だった。

ここで問題発生。先ほどの埼玉の方の態度がおかしい。聞けば、法性寺の下りで財布・カード・免許証

を落としたという。単独で見ず知らずの所に来て何もできない。今から歩いて2時間のところを戻り探しに行くという。それは大変だ。余りに気の毒なので、バスを使い探しに行つて貰った。その間、我々は昼食とした。今日も天気が良く温かい。有難いことだ。

昼食が終わるころ埼玉氏は帰つて来たが結局、見つからなかったという。彼は菊水寺の方に1万円借用し、引き続き三十四番・水潜寺まで行くことになった。そこからは、我々のバスで最寄りのバス停まで送つてやることにした。



札立峠

三十四番・水潜寺に向かう。秩父札所最後の寺である。しかし、最後に札立峠が立ちはだかっている。四国もそうだった。八十八番・大窪寺には女体山を越えなければ着かない。伊豆も戸田峠がある。生みの苦しみ、最後の試練だった。標高差は奈良川橋から約300m。まあ、四国に比べれば楽なものだ。(四国は約776m・戸田は約730m))

菊水寺から一部はバスの人となった。奈良川橋から林道をつめて、頼母沢上から山道に入った。ここでも入れ替わつて一部、バスを利用した。山道は、やや暑かったが問題なく1時間ほどで札立峠着。昔は茶屋があつたらしく廃屋があつた。

あとは下りで水潜寺に向かう。途中、少し台風の影響があつたが、特に問題はなし。小1時間ほど下つて水潜寺着。これで三十四番札所は終了した。しかし、実はまだあつた。「お礼参り」といって一番札所に戻る習わしがある。それで本当の「願いが結ばれる」のである。三十四番でお終いだと、歩き(巡礼は)円(縁・一周)で結ばれない。

埼玉氏・また四国も最終寺で終わる方が少なくない。出来れば一番札所まで歩きたい。ここで松永さん

は、「百観音」を達成した。西国33か所、坂東33か所、秩父34か所で「百観音」。
ただ、西国・坂東は距離も長く歩きは困難。松永さんはバス巡礼だった。また松永さんは、札所御朱印が「千寺」になったという。金額は半端でなかった。埼玉氏を最寄りのバス停まで送った。



三十四番・水潜寺でバンザ〜イ！！

3日目（11月7日・木）晴 距離＝約18km

起床5：00～温泉～朝食6：45～バス発7：15～水潜寺発8：22～根古屋～琴平下～大淵9：57～和銅大橋～法雲寺（昼食）11：19～12：02～一番・四萬別寺12：40～13：12～大イチョウ14：00～ワイナリー14：30～梁山泊（泊）

今日も天気が良かった。バスで水潜寺着。日陰で寒い。琴平下まで下りなのでグングン進む。ここから荒川沿いに歩く。途中、大淵で地元のオジサンと交流。

和銅大橋まで田舎道をブラブラ進む。綺麗な美容院でトイレを借りた。和銅大橋の「和銅」は、元号の名称。秩父で発行された貨幣は、「和同開珎」で、「どう」の文字が違う。秩父線の黒谷駅も「和銅」である。この先で昨日の埼玉氏から携帯。落とし物が交番に届いていたそう。ちなみに、お礼物は何もなかった。

荒川を渡り対岸を歩く。裏街道を進み、法雲寺という小さな寺で昼食にした。今日も風がなく暖かい。南西に武甲山が大きかった。秩父巡礼は、いつもこの山を眺め仰ぎ歩いた。山裾をグルっと一周した感じがする。

午後は瑞岩寺前を通過し一番・四萬別寺着。三年前を思い出し懐かしかった。土産物屋を兼ねているご朱印係の方は温かい方だった。靴をぬいて本堂でお勤め。これで結願・満願成就であった。三年間、お疲れさまでした。無事に終了し、感謝・感謝です。



一番札所・四萬別寺

4日目（11月8日・金）晴

起床5：00～温泉～朝食7：00～バス発8：30～雁坂トンネル～広瀬・コンニャク店～
恵林寺9：55～御坂峠～御殿場・流れ鮎（昼食）～長泉15：30

最終日は、「朝寝・朝酒・朝湯」三昧だった。ゆっくり帰静。

昨日、帰れないこともなかったが、年齢を重ね、慌ただしい旅はしたくない。広瀬ダムのコンニャク店に寄った。出された、刺身コンニャクが美味しかった。

紅葉が往時より進んだようだ。

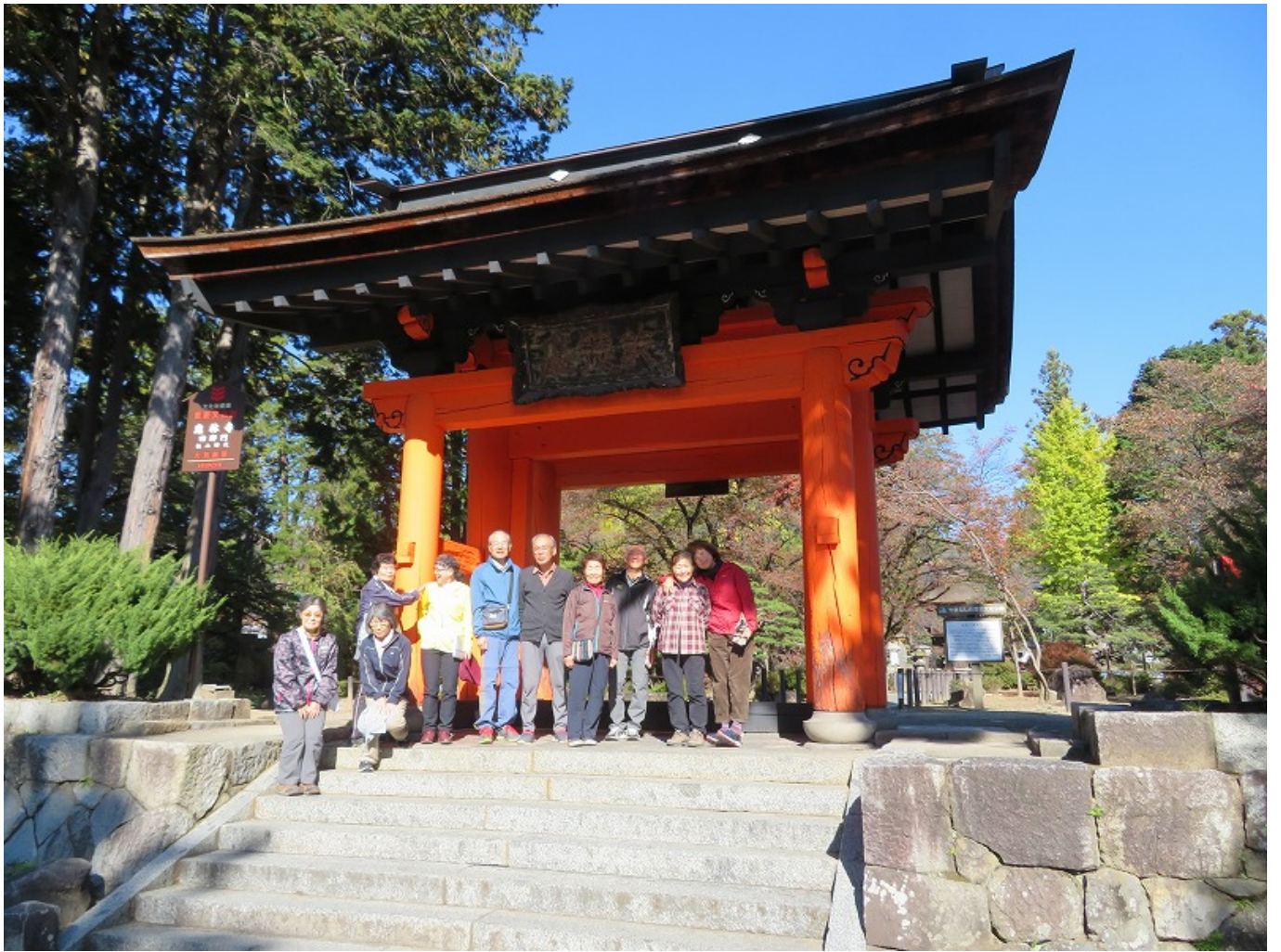
塩山で恵林寺に寄った。3000円で本堂などを見学。「うぐいす張り廊下」があった。キュキュキュと賑やか。圧巻は、恵林寺本堂でお勤め。

係りの方は、気持ちよく勧めてくれた。有難い。丁度、外国の方が本堂脇で「座禅」をやっていた。お経と座禅、そして紅葉。イイ雰囲気だった。境内の梢に山号の「乾徳山」が遠望できた。

昼食は御殿場・流れ鮎。10000円のランチで腹いっぱいだった。

早く帰ったので、畑で一仕事した。今回もイイ旅だった。

（了）



山梨・恵林寺

